

問1	日本の政治制度における国会の役割について、その地位と権限の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2026年 三重県公立入試 類似）			
	1. 憲法の番人として、法律が憲法に違反していないかを判断し、違憲立法審査を行う。	2. 各自治体の代表機関として、地域独自の条例を制定し、住民の直接投票を管理する。	3. 行政の最高機関として、予算の執行を管理し、行政運営に必要な政令を制定する。	4. 国権の最高機関として、唯一の立法権を持ち、法律の制定や条約の承認を行う。
問2	法律や命令が憲法に違反していないかを判断する「違憲審査制」において、最終的な決定権を持つことから「憲法の番人」と呼ばれている機関はどこですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 最高裁判所	2. 地方裁判所	3. 高等裁判所	4. 検察庁
問3	日本の政治体制において、内閣が国会の信任に基づいて成立し、行政権の行使について国会に対して連帯して責任を負う仕組みを何といいますか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 地方自治制	2. 大統領制	3. 議院内閣制	4. 直接民主制
問4	日本の三権分立において、行政権を持つ内閣が、立法権を持つ国会（衆議院）に対して抑制を働かせる手段として憲法で認められている権限はどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 違憲立法審査権の行使	2. 内閣不信任の決議	3. 弾劾裁判所の設置	4. 衆議院の解散
問5	日本国憲法が定める最高裁判所の裁判官の国民審査について、この制度の仕組みと実施される時期の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 国民が裁判官を罷免するかどうかを直接判断する制度であり、衆議院議員総選挙の際に行われる。	2. 内閣が任命した裁判官を国会が承認する制度であり、参議院議員通常選挙の際に行われる。	3. 裁判官の判決内容が憲法に違反していないかを審査する制度であり、内閣総理大臣の指名時と同じタイミングで行われる。	4. 国民が新しい裁判官を推薦する制度であり、4年に1度の地方統一選挙の際に行われる。
問6	日本国憲法の規定において、三権分立を構成する各機関とその役割の組み合わせとして正しいものはどれですか。憲法第41条（国会）、第65条（内閣）、第76条（裁判所）の定義に基づき答えなさい。（2019年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 国会：唯一の立法機関として法律を制定する、内閣：違憲審査権を行使する、裁判所：行政権を代行する	2. 国会：行政の執行を監督する、内閣：法律を制定する立法機関である、裁判所：国の予算を編成する	3. 国会：司法権をもって裁判を行う、内閣：国権の最高機関として君臨する、裁判所：行政を執行する	4. 国会：唯一の立法機関として法律を制定する、内閣：行政権を行使する、裁判所：司法権を行使する
問7	日本国憲法では、司法に対する国民のチェック機能を果たすため、最高裁判所の裁判官がその職務にふさわしいかどうかを国民が判断する制度が設けられています。この制度について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 内閣総理大臣の指名に基づき、国会が裁判官の罷免を決定する。	2. 国政調査の一環として、各地方公共団体で個別に審査を行う。	3. 衆議院議員総選挙の際に、国民が直接投票によって審査を行う。	4. 参議院議員通常選挙の際に、国会議員による投票で審査を行う。
問8	日本国憲法では、国会が行政を適切に監視するために重要な権限が認められています。衆議院と参議院の両議院が、国政全般について調査を行い、証人の出頭や証言、記録の提出を求めることができるこの権限の名称として正しいものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 裁判官弾劾裁判所	2. 予算の議決権	3. 国政調査権	4. 内閣不信任決議権
問9	国会における法律案の審議において、衆議院で可決された案が参議院で否決された場合でも、衆議院で再び可決することで法律を成立させることができます。この「再可決」による法律成立のために必要な条件として正しいものはどれか。（2017年 富山県公立入試 類似）			
	1. 衆議院の総議員の3分の2以上の多数による可決	2. 両院協議会において出席者の3分の2以上の同意を得ること	3. 衆議院の出席議員の過半数の多数による可決	4. 衆議院の出席議員の3分の2以上の多数による可決
問10	日本の政治制度において、衆議院で内閣不信任の決議が可決された際、内閣が日本国憲法第69条の規定に基づいて取らなければならない行動として正しい説明はどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 内閣総理大臣が閣僚を全員交代させた上で、改めて衆議院の信任を得なければならない。	2. 10日以内に衆議院を解散するか、さもなければ内閣総辞職をしなければならない。	3. 10日以内に参議院を解散するか、さもなければ内閣総理大臣を罷免しなければならない。	4. 直ちに衆議院と参議院の両方を解散し、30日以内に総選挙を行わなければならない。
問11	地方裁判所での第一審の判決を不服として、高等裁判所へ「控訴」を行い、さらにその判決に不服がある場合に最高裁判所へ「上告」を行うことができる制度があります。このように、三回まで裁判をやり直すことができる「三審制」が採用されている最も大きな理由は何ですか。（2026年 高知県公立入試 類似）			
	1. 国民が裁判に参加する機会を増やし、司法への関心を高めるため	2. 裁判の回数を増やすことで、弁護士や裁判官の雇用を安定させるため	3. 一回の裁判にかかる時間を短縮し、効率的に多くの事件を処理するため	4. 慎重に裁判を繰り返すことで、裁判の誤りを防ぎ、国民の人権を十分に守るため
問12	日本の政治制度における「三権分立」の考え方に基づき、国会、内閣、裁判所の三つの機関が互いに権力をチェックし合っている状況の説明として、正しいものはどれですか。（2022年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 裁判所が法律を制定する権限を国会から奪い、すべての国家権力を裁判所に集約させている	2. 国会、内閣、裁判所が互いに独立した役割を持ち、特定の機関に権力が集中しないようバランスをとっている	3. 内閣がすべての裁判官を直接罷免する権利を持つことで、行政権が司法権を完全に支配している	4. 国会が行政と司法のすべての判断を最終決定する権利を持ち、抑制と均衡の仕組みを廃止している
問13	最高裁判所裁判官の国民審査において、ある裁判官が「罷免（ひめん）」されることになる基準として、正しい説明はどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 何も書かれていない票（信任票）が、有効投票の半数に満たなかったとき。	2. 辞めさせたいという「×」の印がついた票が、全有権者数の3分の1を超えたとき。	3. 辞めさせたいという「×」の印がついた票が、全裁判官の中で最も多かったとき。	4. 辞めさせたいという「×」の印がついた票が、有効投票の過半数に達したとき。